



2008.12

No. 179

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

連合北海道第21回年次大会開催される

春季生活闘争勝利、衆議院選挙完勝で意志統一

連合北海道は、11月27日、札幌市内で第21回年次大会を開催し、2009年度活動方針や2009年春季生活闘争の取り組みなどを確認したほか、厳しさを増す雇用情勢を鑑み、「連合北海道総合雇用対策本部」設置の特別決議を満場一致で採択した。

大会冒頭、高柳会長は挨拶で 雇用問題、春季生活闘争、政治闘争の3点を運動課題としてあげ、雇用問題では、解雇や内定取り消しなどが多発している厳しい雇用状況の改善に向け、「連合北海道総合雇用対策本部」を設置して関係方面への働きかけを行っていくことを明らかにした。

また、2009年春季生活闘争では、格差是正に向けて春季生活闘争を展開するとした連合本部の方針に基づき、北海道段階において、産別間格差、規模間格差はもとより非正規労働者の処遇改善に向けた取り組みを強化するとした。

更に、政治闘争・衆議院選挙闘争については、「今のままでは、政権維持そのものが政治空白である」として、いつ選挙になろうとも「政権交代をかけた戦いの準備だけは万端に整えておく必要がある」とした。

その後、来賓あいさつで鉢呂民主党北海道代表は、道内12候補完勝に向けた労組への協力を改めて要請した。

大会では活発な討議が行われ、全議案が提案どおり採択され、最後に大会宣言、企業倒産の防止と雇用を守



る特別決議を満場一致で採択した後、柳会長のガンパロー三唱で閉会した。

<大会における発言>

全自交:ハイクウ最賃協議会における諸行動

自治労:地域医療確保署名運動、福祉・介護人材確保、自治体財政、幌延・地層処分実証設備事業、プルサーマル計画

北教組:子どもや教職員をめぐる状況改善

JR総連:春季生活闘争での連合のイニシアチブと各種問題での共闘体制

国公連合:国の出先機関の統廃合

宗谷地協:地域組織に対する議決権の付与

空知地協:「木の城たいせつ」問題についての報告、くらしの安心安全と社会的公正

石狩地協:さっぽろライフサポートセンター

一部役員の改選

執行委員 / 渡辺 直志 (JP労組)

松田 朋子 (北教組)

会計監査 / 大西 政昭 (紙パ連合)

松浦俊一氏は20年史編纂担当特別執行委員、越智朱美執行委員、荒木英篤会計監査が退任。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_1127_taikai21.html



2009年度道予算編成に関して対道交渉

雇用や地域医療の確保など重要課題の反映へ

連合北海道は11月21日、2009年度道予算に関する道との交渉に臨み、雇用や地域医療の確保、地場中小企業や道内農林水産業の振興、教育の充実など、道民が地域で暮らし続けていくために重要な課題を予算編成に反映するよう求めた。

今回の交渉は去る10月20日に提出した「要求と提言」に基づくもので、事前に道から示された回答を踏まえて、特に重要な28項目を交渉課題に取り上げたものである。当日は11産別からのべ18名が交渉に参加して、それぞれ関わりのある課題について発言し、道の姿勢、考え方を質した。

交渉の冒頭、連合北海道を代表して村田事務局長は、アメリカの金融危機による世界同時不況への不安が高まるなか、国内・道内でも内定取り消しや有期雇用労働者の契約打ち切り、倒産による解雇など雇用問題の増加が懸念されるとした上で、雇用確保や経済産業の振興における道の役割の重要性を指摘。なかでも季節労働者対策における道の積極的な施策展開を求めたほか、道行財政と地方自治に関しては、地域社会の自治の形を構想する中から住民自治の促進と公共サービスの充実という観点で改革を検討すべきとした。

道の積極的姿勢が求められる季節労働者対策

経済部から始まった交渉は、雇用の創出・確保や地域経済の活性化等を重点課題とした。

季節労働者施策が「通年雇用促進支援事業」に再編されて2年、この間に地域協議会の運営で明らかになった課題に基づき、連合は支援事業の抜本見直しと道の役割発揮を求めた。これに対して道の宮原労働局長は、制度改善に取り組みながら、協議会の実施状況をみて国に要望したいので気づいた点を教えて欲しいと回答。しかし、各地域協議会における道の役割・立場を考えれば、道は地域の季節労働者対策に必要な課題を明確に打ち出し、国に対しては道民の生活を守るという積極的姿勢を示すべきである。

また、「北海道雇用創出基本計画」の推進に関する要求に対して宮原局長は、高等技術専門学院のあり方に関する「中長期ビジョン」の見直しを図るうえで、特に地域に必要な若年技能者の育成と修了生の就職支援が



課題との認識を示した。また、連合が道立試験研究機関の役割強化を求めたのに対し、道は技術開発機能の強化を図るとともに、「北海道科学技

術振興戦略」に基づいて地域産業・道内産業の発展、企業ニーズに対応した研究開発に取り組むとした。

しかし他方、道の行財政改革の一環として進められる独法化や「民間開放」の動きは、果たして道立技専や研究機関が地域の勤労者や地場企業に必要とされるサービスを引き続き提供できるか疑問視されているが、そのことへの明確な答えはなかった。

「官製ワーキングプア」を認めない北海道

財政難にあえぐ道や各自治体が業務の外部委託を進める結果、委託先企業の労働者の賃金・労働条件の確保が課題となっている。とくに労務提供型の委託契約は、入札価格が人件費を左右する結果、極めて悪条件で働かざるを得ない「官製ワーキングプア」が社会的にも問題となっている。

連合北海道は、「新たな行財政改革の取組み」や「民間開放推進計画」の中に、委託費などの予算削減や委託先企業で働く労働者の労働条件や雇用への影響に配慮することを明確にすべきではないかと指摘。しかし、対応した総務部次長はそれには直接答えず、「ダンピング防止と適正な契約履行確保のため最低制限価格や低入札価格調査制度を採用している」と述べるにとどまった。

道財政の立て直しのための支出削減が、道民・勤労者の生活にどんな影響を及ぼしているのか、道民に強い痛みの結果と現実を直視する態度が、いま強く道に求められているのではないかと。

連合北海道は今後、道議会民主党やフロンティア議員会などと連携を取り、連合要求の実現を求めていくこととする。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_1121_do-yosan.html

ハイタクの再規制強化を政府に要請

北海道ハイタク最賃協議会が道内の実情訴え

北海道ハイタク最賃協議会(佐藤泰光委員長・運輸労働委員長)は、11月11日、民主党(長浜ノ(次の内閣)国土交通大臣)厚生労働省(江利川事務次官)国土交通省

(春田事務次官)に、北海道のハイタク事情を改善するためには、再規制を全道で取り組むことが必要であると、実情を中心にして強く要請した。要請には鉢呂(衆)金

田(衆)、佐々木(衆)、小川(参)の各国会議員も同行した。

民主党には議員立法で再規制と同一地域同一運賃を実現することと最低賃金の大幅引き上げを要請したが、長浜NC大臣からは、明確なアクションを示唆する回答はなかったが、実情を理解し、利用者の利便の観点とハイタクの安心を確保する改善のバランスについても部会等で議論するとの考えが示された。

厚生労働省では、最賃違反や累進歩合など労働法違反の摘発強化等について要請した。事務次官は、「監督行政の手薄は頭の痛いところ。しかしいい加減な対応はできない。要望を受けて努力したい。国土交通省との連携もとりたい。情報を寄せてほしい。」と北海道労働局との連携を強めて違反摘発に共同することが逆に求められたが、要請団からはさらに「競争至上主義は政府の政策で進めたもので、その結果に対しても政府は責任ある対応をすべきだ」と、現状の打開を強く求め、厚生労働省側からも運輸行政に政策転換を促すよう求めた。

これに対しては、直接応えなかったが、定員の拡充については、「体制の補強は全国的情勢では厳しいが、実情



に対応するようなことを考えたい」と、前向きな回答があった。

国土交通省では、供給過剰の解消には再規制しかないことを繰り返

返し強く求めた。事務次官は「それぞれの立場や状況を理解しつつ、規制緩和を進める立場で交通政策審議会にWGを設けて検討中である。結



論は供給・運賃を大きな柱に据える考え。」と作業状況が説明された。またハイタクの現状に対しては、「基本的には利用者と労働者の安心が確保できる環境が大事」運賃算定の必要コストのなかに、労働関係のコストは維持することは前提条件「収奪的賃金は違法であるとしての確な対応をはかる」「違反事実は積極的に公表する。再発を徹底して防止」など、積極的な発言があったが、再規制の強化については、「規制緩和はそれを通じてプラス面を引き出すことにあったのだが、それをすべて御破算にできないが、制度的に対応すべきものもあるので、年末までにまとめて法律を来年には出したい」問題意識は十分共通している。知恵を絞りたい。手をこまねいているつもりはないし時間も引き延ばすきもない」と、決意表明ともとれる発言があった。

ハイタク最賃協議会では今後、政府の返答を検証するため、北海道レベルの関係機関に事務次官の回答を伝え、実効ある政策転換を求めていく予定。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_1111_seifuyosei_taxi.html

公共職業訓練施設見学会・意見交換会を開催

産別・地協から27名が参加して

連合北海道は11月20日、産別・地協から27名の参加のもと、公共職業訓練施設見学会及び意見交換会を開催した。

これは国や都道府県が担ってきた公共職業訓練を、政府が民間圧力に屈し必要な科目を廃止し、公共職業訓練をすべて民間に移行しようとしていることに対し、それを担う政労連雇用労や自治労全道庁技専評議会との意見交換を通じ、労働力人口の減少に対処するための課題などを考える



機会とするために開催したものの。

主催者を代表して挨拶をした連合北海道高瀬副事務局長は、公共訓練の必要性



と、現在、政府の行政減量・効率化有識者会議で議論されている(独)雇用・能力開発機構の存続問題にふれ、「公共職業訓練を担う中心である同機構の廃止・民営化については、道立高等技専の統廃合問題と同質に職業選択の自由を侵害するものであると考え強く反対する」と述べた。これを受け、雇用・能力開発機構北海道センター笠島統

括所長は「機構は国の雇用対策の一翼を担う実施機関としての役割を十分に果たせる。まだ議論は続くと思うが、皆さんの協力をお願いしたい」と参加者に訴えた。

今回の見学先は3カ所。(独)雇用・能力開発機構北海道センター立北海道職業能力開発促進センターと北海道職業能力開発大学校、もう一つは北海道立札幌高等技術

専門学院。CAD技術、木造住宅技術、電気通信施工技術等々、それぞれの分野での専門的な技術を習得するため若者や離職者の方々が真剣に授業にむかっている姿に、参加者は「雇用のセーフティネットとして、こういう場をなくしてはいけない」という思いを新たにし見学会を終了した。ぜひ、来年も実施したいと考えている。

参加者からの感想

公共訓練施設を見学して

情報労連北海道協議会 事務局次長 林 武司

札幌市内の公共訓練施設3ヶ所を視察しました。見学に先立ち雇用・能力開発機構の役員の方から、現在の公共職業訓練を取り巻く現状をお聞きし、政府が「機構」の廃止・民営化すなわち公共職業訓練の縮小を打ち出し進めていることを知りました。

見学し印象に残ったのは、やはり「もの作りの現場はいいな」ということと、若い人たちが実に真剣に明るく技能の習得に取り組んでいる姿でした。特に女性が木工やCADと言った分野の技術取得に励んでいることに「日本の将来も、まだまだ捨てたもんじゃないな」と感じました。

3ヶ所の学校の卒業生の就職率も高く、企業からの評価も高いことや私の会社の分野である電気通信の授業では危険予知の訓練を行っている等、実践的でレベルの高い授業が行われ



ていることに感心するとともに、このような機関、訓練を縮小・廃止に持っていこうとしている政府に憤りを感じます。また地方自治体への移管も検討されているが、一定のレベルを保つためにも国の役割は大きいものとおもいます。

ある役員の方が「政府は日本を金融立国にしようとしたが、それは間違いだ。伝統的にやってきた、もの作りを中心とした方向を目指すべきだ」との言葉に、本当はそのとおりだと思いつつ見学を終えました。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2008_1120_vocationaltraining_inspection1.html



12・1月の主な動き

イベントカレンダー

- 年末相談ダイヤル
5日(金)・6日(土) 8:00~20:00
- 渡島地協第20回定期総会
7日(日) 13:30 / 函館国際ホテル
- 金融危機問題と経済雇用に関する学習会
8日(月) 18:00 / 厚生年金会館
- 第3回連帯活動小委員会
10日(水) 15:00
- 第2回連帯活動担当者会議
11日(木) 13:00 / 総評会館
- 胆振地協定期総会
11日(木) 15:00 / 洞爺湖
- 2009年度連合「社会保障講座」
12日(金) 10:00 / 総評会館
- 労問研総会
12日(金) 15:00 / センチュリーロイヤルホテル
- 上川地協定期総会
13日(土) 10:00 / 旭川トーヨホテル
- 留萌地協定期総会
13日(土) 13:00 / 留萌市中央公民館

- 日高地協定期総会
13日(土) 14:00 / 新日高町静内コミュニティセンター
- 石狩地協定期総会
16日(火) 9:30 / 厚生年金会館
- 第2回執行委員会
17日(水) 10:30 / センチュリーロイヤルホテル
- 第40回地方委員会
17日(水) 13:30 / センチュリーロイヤルホテル
- 第1回地協事務局長会議
17日(水) 15:00 / センチュリーロイヤルホテル
- 連合「構成組織・地方連合会政策担当者会議」
17日(水) 13:30 / 東京
- 空知地協定期総会
20日(土) 10:00 / サンプラザ
- 宗谷地協定期総会
20日(土) 13:00 / 労働会館
- 東北ブロック定期交流会
22日(月) 16:00~23日(火) / 福島
- 第15回中央執行委員会
24日(水) 13:30 / 総評会館

- 仕事納め
26日(金)

【1月】

- 仕事始め
5日(月)
- 新年交礼会
6日(火) 17:00 / 厚生年金会館

毎回大好評の組員特別優待クーポン誌

2008年冬休み版好評配布中!

ゆに・ぽん

道内のスキー場やホテル、アミューズメントなどが特別価格で利用できます。ゆに・ぽんを楽しみ冬休みにぜひお役立てください。

